

平成 31 年 3 月 14 日

平成 31 年度 第 2 回学校関係者評価委員会議事録

日時：平成 31 年 3 月 14 日（木）14:00～15:00

場所：日本福祉教育専門学校 高田校舎

出席者：委員 松山 慎司（社会福祉法人西東京市社会福祉協議会 専門員）
金川 正宗（社会福祉法人敬心福祉会敬心苑 施設長）
肥後 義道（立川市社会福祉協議会）

事務局 陶山 哲夫（学校長）
事務局 白川 耕一（教務部長、社会福祉士養成科教員）
事務局 中嶋 裕之（事務次長）
事務局 浅見 豪（教務課課長代理）
事務局 鈴木 達也（学務課係長）

議題

1. 平成 30 年度 退学率、就職率、国家試験、募集活動について（中嶋）

平成 30 年度の退学率、就職率、国家試験、募集活動について中嶋から報告があった。

2. 平成 31 年度 重点目標について（中退率、国家試験対策）（浅見）

平成 31 年度の重点目標を【中退率抑制】と【国家試験対策】に設定し、以下の取り組みを実施する。

中退率の抑制

- ・授業の出欠状況をシステム管理し、最新の出欠状況を全教職員が把握できる状態にする。欠席や遅刻が目立つ学生を早期に発見し声かけを行うことにより、学生の状況を把握し、個々の学生にあった対策を講じる。
- ・新入生に関する、学生の退学要因となっている精神面、金銭面、体調面等の情報を入学前から把握し、入学直後から学生に寄り添った個別の対応を実施する。

国家試験対策

- ・本校の国家試験合格率は各学科とも全国平均を上回る結果となっているが、合格率 100%を目指し、既に実施している各種国家試験対策に加え、国家試験合格のための学習方法の指導を積極的に行う。

3. 平成 31 年度 学校関係者評価委員会の進め方（鈴木）

平成 31 年度学校関係者評価の実施方法と委員会開催について、鈴木より説明があった。

4. 意見交換

- ・熱意を持って学生に取り組んでおられる。今後も継続して頂きたい。(肥後)
- ・国家試験不合格となった学生が翌年度に合格する事は非常に困難である。学生が卒業年度に国家試験に合格できるよう、国家試験対策の充実をお願いしたい。(金川)
- ・留学生や職業訓練生、精神面や身体面で問題を抱えている学生等、学生の多様化が進む中で、教職員が連携し学校全体で学生支援に取り組んでおられる。今後も学生の為に継続していただきたい。(松山)

5. おわりに

委員の意見を基に、今後も学校運営に対して改善を図っていきたい。来年度 1 回目の委員会は 6 月下旬の開催を予定している。

以上